

決算に対する討論の概要

令和5年度決算（一般会計、4特別会計および公共下水道事業会計）に対し、5名の議員がそれぞれ所属する会派を代表して討論を行いました。その概要は次のとおりです。

（金額の単位は円）

会 計 名	歳入決算額	対前年度伸率	歳出決算額	対前年度伸率	歳入歳出差引額
一 般 会 計	58,955,534,375	7.0%	56,523,431,030	8.0%	2,432,103,345
特 別 会 計	23,954,329,384	3.2%	23,602,059,230	3.7%	352,270,154
国民健康保険事業	12,233,652,183	1.5%	12,205,884,830	1.4%	27,767,353
介護保険事業	9,504,244,167	6.3%	9,222,677,546	8.3%	281,566,621
後期高齢者医療事業	2,205,314,434	4.3%	2,162,502,254	3.5%	42,812,180
公共用地先行取得事業	11,118,600	△ 89.8%	10,994,600	△ 89.9%	124,000
企 業 会 計	3,931,420,310	3.5%	4,170,138,429	△ 7.2%	△ 238,718,119
公 共 下 水 道 事 業					
合 計	86,841,284,069	5.8%	84,295,628,689	5.9%	2,545,655,380

政 進 会

賛 成

○全会計の決算に賛成

▽令和5年度は食糧やエネルギー価格が高騰し、国内では円安の影響などで先行き不透明な状況が続きましたが、人口の増加や海老名駅西口地区の進展、企業業績の回復などにより、市税全体の収入額は過去最高となりました。

▽人口増加による新たな財政需要や緊急的な財政出動に備えて、決算剰余金を適正に運用することを期待します。

▽経常収支比率は物価高騰で物件費や扶助費などの経常的な支出が増え、前年度比0・5ポイント増の94・3%となりましたが、質の高い市民サービスと良好な財政状況のバランスを、高い次元で保っていることを認識しています。比率に一喜一憂せず、市民生活を守るために積極的な生活支援や経済対策を実施していただきたいと思っています。

▽財政調整基金残高は標準財政規模の10%を下回りましたが、市民一人当たりの市債残高は依然として少なく、新まちづくり基金、公共施設等あんしん基金などにおける財政需要に備えた一定の残高確保を、高く評価します。

▽子ども医療費助成の高校生世代までの拡大を評価するとともに、県内に先駆けて開始した帯状疱疹ワクチン助成が大変好評だと認識します。接種しやすい環境づくりと、子どもへのインフルエンザワクチン助成の検討を願います。

▽プレミアム付商品券は第7弾までの総額約82億円が市内で使われ、市民生活の下支えと市内経済の活性化に大きく寄与しました。今後も適時適切な対応を願います。

▽5年度末に市役所周辺地区が市街化区域に編入され、本市の価値がより一層高まることを期待するほか、食の創造館別館の完成、消防南分署建替事業の推進、スマホ市役所の実装などさまざまな施策推進を高く評価します。



海老名駅周辺のまちなみ

公 明 党

賛 成

○全会計の決算に賛成

▽令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5類に引き下げられ、マスクの着用や3蜜回避などの行動制限も緩和される中で、テーマを「コロナに打ち克つ、輝く未来へ飛躍するえびな」と掲げ予算が執行され、良好な財政状況が堅持されたことを高く評価します。

▽ハード面では、食の創造館別館が完成したこと、市民の待望の中学校完全給食に向けて試行的な実施がされました。

▽ソフト面では、「元氣いっぱい!!えび」にや商品券を発行し、原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰の影響を受けている市民生活の支援および地域経済の活性化が図られました。

▽「新たな発見ができるまち」として、魅力あるシティプロモーションの展開、市民などから募集した海老名の魅力川柳をデザインした割り箸袋を作成して、大型商業施設や飲食店へ配布しました。割り箸袋のデザインも好評でしたし、デジタルサイネージなどを活用し、認知度向上を図るなど、海老名の魅力に思いをはせながら川柳を考えるという企画は、市民にとって参加しやすく楽しいものでした。

▽「健やかに暮らせるまち」として、子ども医療費助成の対象年齢を満18歳に達する日以降の最初の3月31日までに拡大したことは、子育て世帯の負担軽減になりました。

また、帯状疱疹ワクチンは、発症予防と健康増進のために接種費用を国に先駆けて助成をし、50歳以上の方に大変喜ばれました。

▽この他にも、多くの事業に取り組みられたことにより、生活上の利便性向上、福祉の拡充、市民の健康推進などが図られました。

